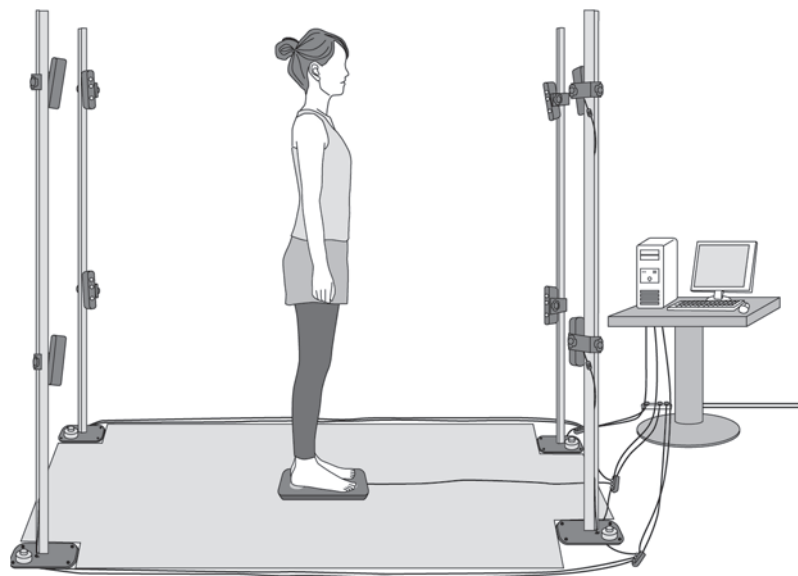


# i-body

## 取扱説明書



この度は、「i-body」をご導入いただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、その後いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

- |                   |        |               |       |
|-------------------|--------|---------------|-------|
| 1.ご利用上のご注意        | 1~2ページ | 5.ボディスキャン(測定) | 10ページ |
| 2.構成品             | 3ページ   | 6.使用後のお手入れと保管 | 11ページ |
| 3.ご利用になる前に        | 4ページ   | 7.故障かな?と思ったら  | 12ページ |
| 4.キャリブレーション(測定検査) | 5~9ページ | 8.規定・仕様       | 12ページ |

製品のお問い合わせ・取扱い方法・その他ご不明な点は  
下記までお問い合わせください。

**iBODY株式会社**

**TEL.03-6455-4357**

(受付/平日10:00~17:00)

※都合によりお休みをいただく場合もあります。ご了承ください。

URL : <http://www.i-body.co.jp>



〈ご相談窓口における個人情報のお取扱い〉

iBODY(株)は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。







# 1.安全上のご注意 ※必ずお守りください。

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、あなたや他の方々への危害や財産への損傷を未然に防ぎ、本品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項です。  
その表記を図記号の意味は次のようになっています。


注意事項は、誤った使い方で生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

	<b>警告</b>	誤った使い方をすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った使い方をすると、「人が損傷を負う可能性や、物的損害の発生が想定される」内容を示します。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大被害を示します。

## 絵表示の例





		
<b>強制</b> を示す記号について。 上図は「一般的な強制」を示します。 具体的な強制内容は、  の近くに文章や絵で示します。	<b>禁止</b> を示す記号について。 上図は「一般的な禁止」を示します。 具体的な禁止内容は、  の近くに文章や絵で示します。	<b>注意</b> (警告・危険を含む)を示す記号について。 上図は「一般的な注意」を示します。 具体的な注意内容は、  の近くに文章や絵で示します。

## 警告

 必ず守ること	下記の人にはご使用をお避けください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">急性疾患の方/悪性腫瘍のある方/妊娠中、妊娠と思われる方/生理中の方(ホルモンバランスが不安定で、肌トラブルの原因となることがあります。)/アレルギー体質で敏感肌の方/皮膚炎、過度の日焼けなど、皮膚に異常のある方/肌に傷や湿疹、はれものなどのある方/アトピー性皮膚炎の方/ステロイド系ホルモン剤の長期使用や肝機能障害で毛細血管拡張を起こしている方/医師の治療を受けている方や特に身体に異常を感じている方/化粧品、消毒剤がかぶれたことのある方/上記以外に身体に異常を感じている方</div> 上記の内容を守らない場合、事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	機器使用上は、必ず使用方法及び注意事項を厳守し施術を行ってください。
	携帯電話等の無線機器は誤操作の原因となりますので近くで使用しないでください。
	電気カーペット、ヒートマット等の電気製品及び、その他のコイル使用製品及び電磁波の干渉が起きる電気製品との使用はお避けください。
	本体と付属品が正しく確実に連結しているか確認してください。
	本製品は清潔に保管してください。損傷の有無を点検し、万一損傷時には使用を中止してください。
	動作しない場合には、電源をOFFにして接続を確認してください。それでも動作しない場合には部品の故障の可能性がある為、電源を消し販売店にご連絡ください。
	通常の使用とは、室温10~30度・湿度30~60%で結露なき室内にて一定の場所に設置使用することを指します。使用場所及び置き場所は、高温・多湿・水濡れなどに注意してください。

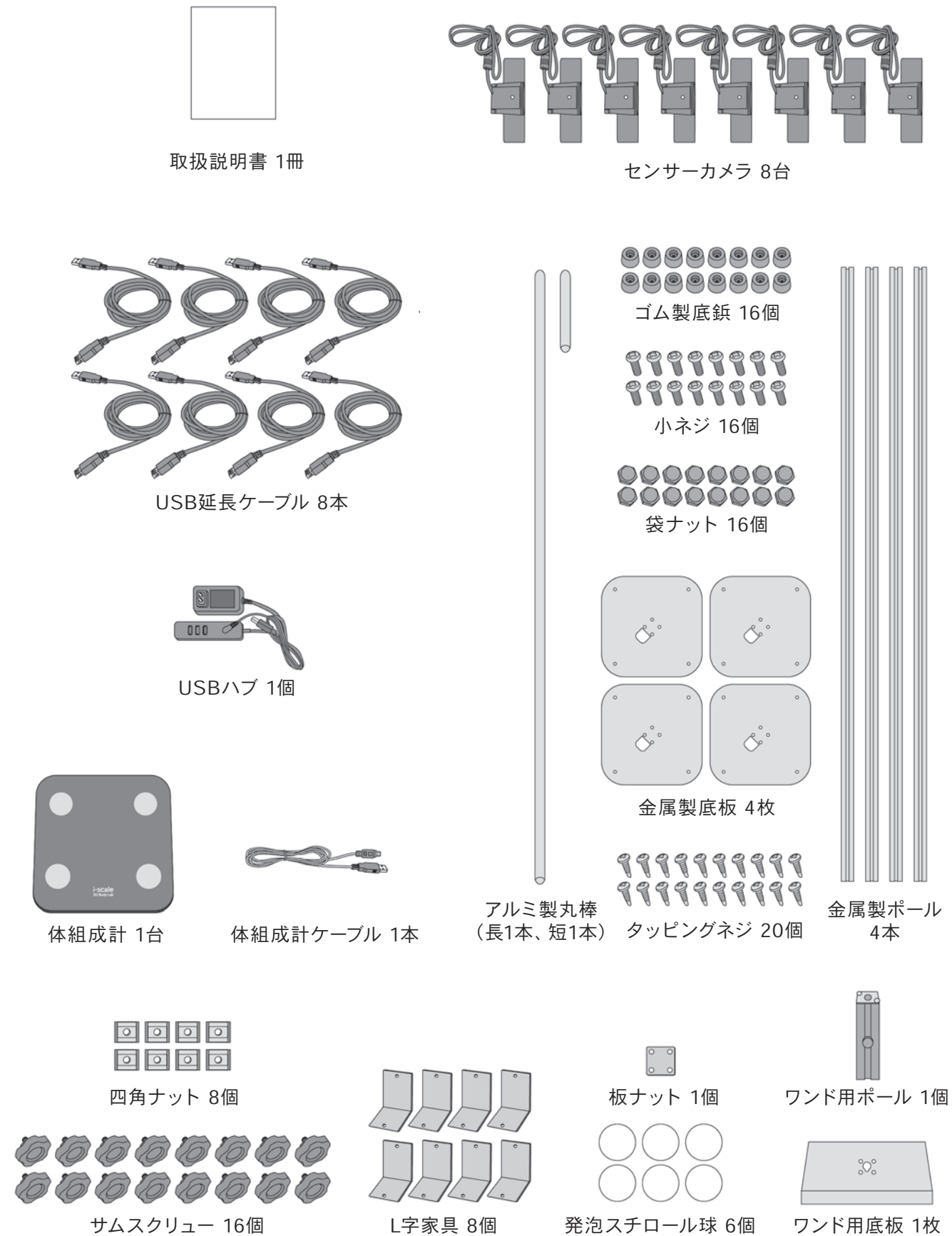
# 1.安全上のご注意 ※必ずお守りください。

## 警告

 必ず守ること	本書の内容を熟知してからご使用ください。事故や故障のおそれがあります。
	業務終了後は、必ず電源をOFFにして、電源ケーブルを外してください。
 してはいけないこと	コードは束ねたり、フックに引っ掛けたりせず、負担がかからないよう大きな輪になるようにまとめて、安定した場所で保管してください。束ねた状態で保管すると負担がかかり、コードが断線します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> ○正しい保管例</div> <div style="text-align: center;"> ×誤った保管例</div> </div>
	本品は測定機器です。他の目的では使用しないでください。製品の破損の原因となります。
	本品に衝撃を与えたり、転倒させないでください。事故やケガ、製品の破損のおそれがあります。
	本品を振動のある場所や不安定な場所に置かないでください。事故やケガ、製品の破損のおそれがあります。
	本品の上に乗ったり、体重をかけないでください。事故やケガ、製品の破損のおそれがあります。
	移動する際は、電源を切り電源コードを取り外してから移動してください。事故やケガ、製品の破損のおそれがあります。
	他の機械や本品を2台以上の同時使用や併用はしないでください。機械に負担がかかり故障します。
	泥酔している方、体調不良など感覚が鈍くなっている方にはご使用しないでください。事故やケガのおそれがあります。
お子様や一人でご使用になれない方には使用させないようにしてください。事故やケガ、製品の破損のおそれがあります。	
電源が入っている状態でコードを差し込み口に触れないでください。事故やケガ、製品の破損のおそれがあります。	

## 2. 構成品

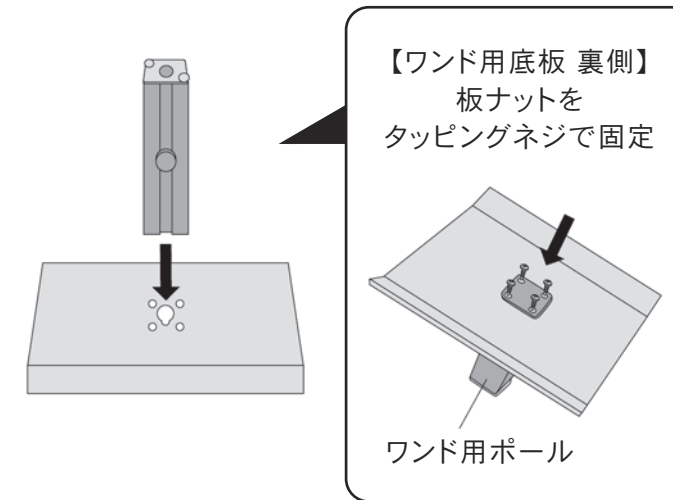
同梱内容 開封時に全て揃っているかを確認してください。



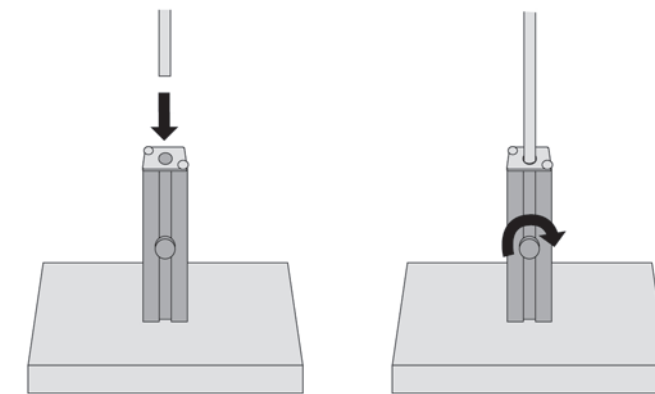
## 3. ご使用になる前に

ワンド《測定検査用バー》の組み立て

1 ワンド用底板とワンド用ポール、板ナットをタッピングネジで固定します。

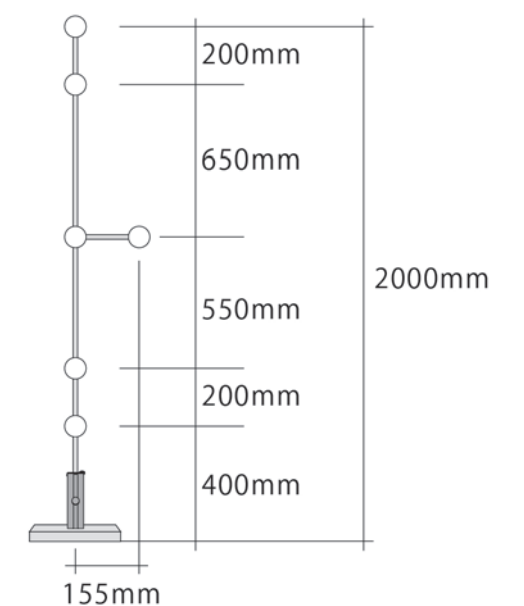
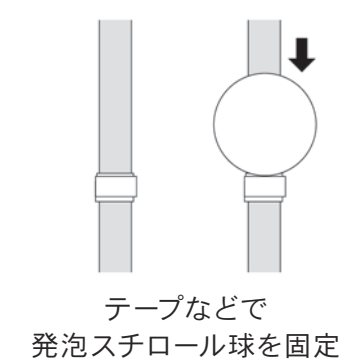


2 ワンド用ポールの穴にアルミ製丸棒(長)を差し込みます。  
(アルミ製丸棒は一番下までおろしてください。)  
ワンド用ポールのサムスクリューを回して、アルミ丸棒を固定します。



3 アルミ用丸棒(短)と発泡スチロール球を  
イラストのように組み立ててください。

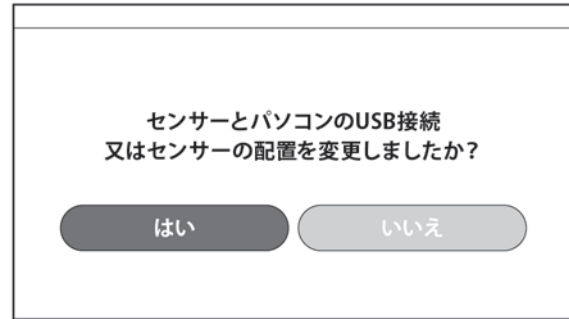
アルミ製丸棒を金属製  
円柱に差し込みます。  
右記のそれぞれの長さ  
を測り、発泡スチロー  
ル球を固定します。  
※球はテープなどで固  
定してください。



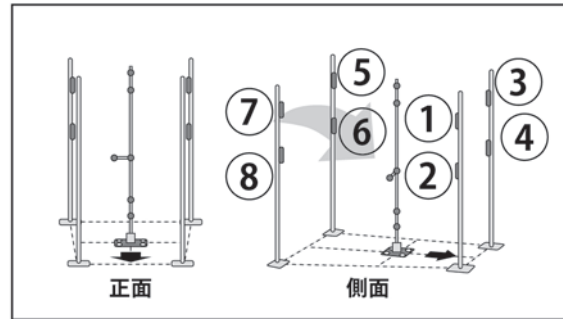
## 4.キャリブレーション(測定検査)

測定を行う日は必ず毎日行ってください。センサーとPCのUSB接続またはセンサーの配置を変更していない場合は、簡易的なキャリブレーションを行ってください。(P12-13)

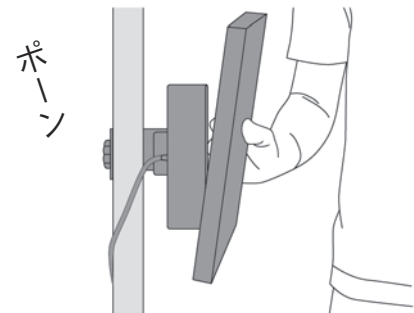
- 1 TdblScnCalibrationStudio.exeを起動します。下の画面が表示されますので、『はい』をクリックします。



- 2 カメラ①～⑧の位置は画面にて確認をしてください。

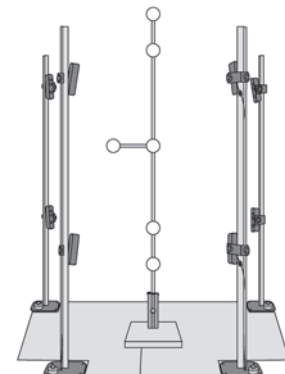


- 3 8台の赤外線センサーが全て光っていることを確認の上、ガイダンスに従って、黒い板などをセンサーカメラ①から順にかざします。※音がなります

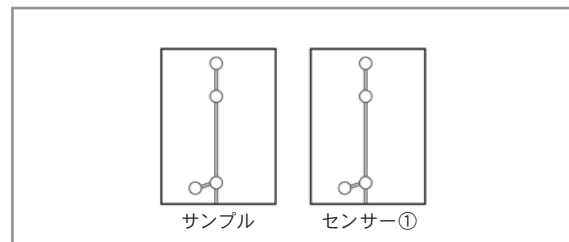


※お目元を赤外線センサーの30cm以内に近づけないようにご注意ください。

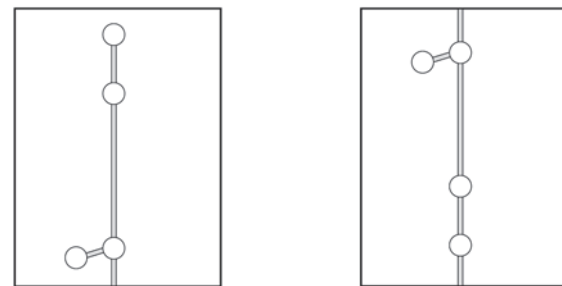
- 4 キャリブレーションワンドを所定位置(中心)に置きます。『手順スタート』をクリックします。



- 5 センサーカメラの調整を行います。サンプル画像を参考に、キャリブレーションワンドの4つの球が画面の中心に写るよう、センサーカメラ①の位置や角度を調整してください。カメラの角度を合わせる場合はポールの向きを調整するかカメラ右横のネジを緩めて角度を調節してください。※カメラ後ろのネジは動かさないでください。調整が終わったら、『次へ』をクリックします。



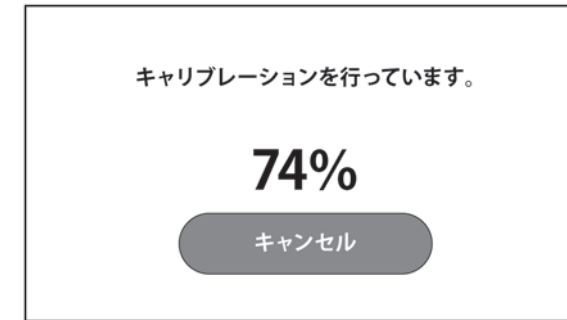
- 6 次にセンサーカメラ②を調整します。上のセンサー(①、③、⑤、⑦)は上部の球4つ下のセンサー(②、④、⑥、⑧)は下部の球4つが写るように調整してください。



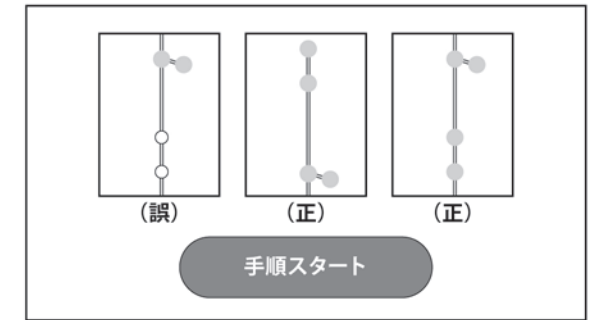
上のセンサー①、③、⑤、⑦は上部の球4つが写るように調整してください。下のセンサー②、④、⑥、⑧は下部の球4つが写るように調整してください。

## 4.キャリブレーション(測定検査)

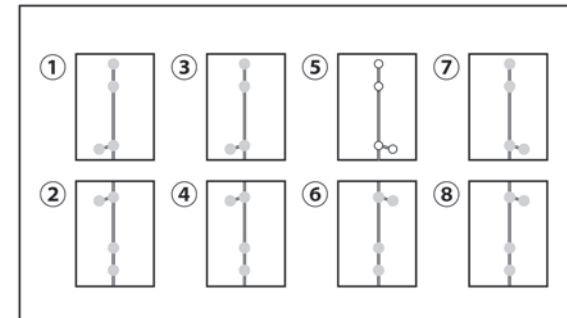
- 7 センサーカメラ⑧の調整を終え、『次へ』をクリックするとすぐにキャリブレーションが行われますのでセンサーカメラの枠の外に出てください。画面の表示が100%になるまでそのままお待ちください。



- 8 サンプル画像のように、4つのマーカーが赤く表示されているか確認していきます。『手順スタート』をクリックします。

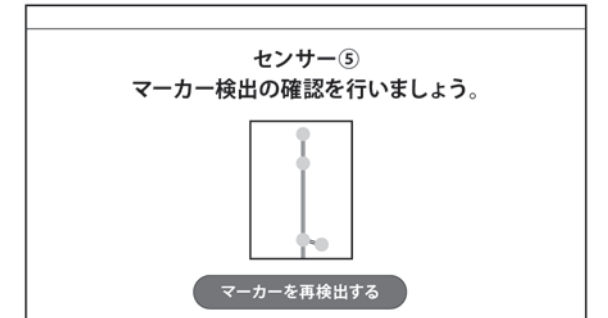


- 9 赤い丸で認識されているのがマーカーになります。赤く認識されていないものがある場合は、その画像をクリックして再検出を行います。

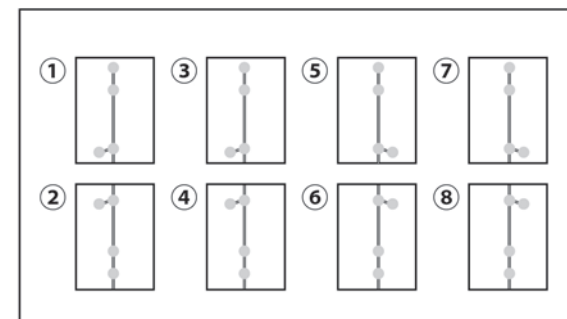


↑認識されていないものがある場合はその画像をクリック

- 10 マーカーの再検出を行い、赤い丸を4つ認識させてください。

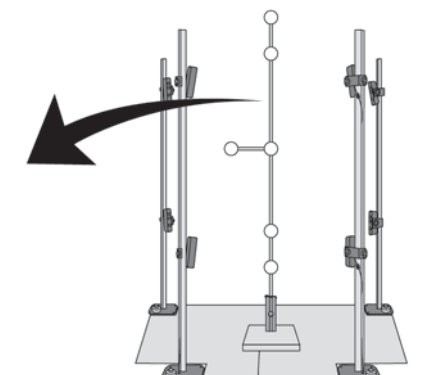


- 11 すべてのマーカーが赤く認識された場合、『次へ』をクリックします。



↑すべてのマーカーが認識されたら『次へ』をクリック

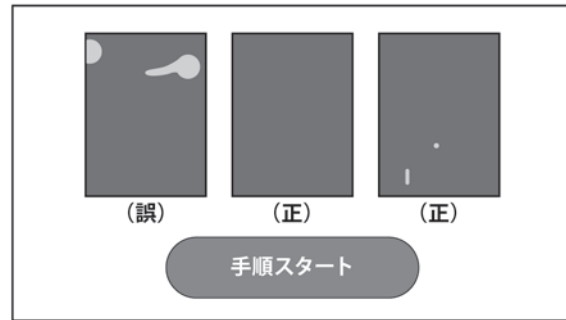
- 12 キャリブレーションワンドをセンサーカメラに映らない場所へ移動させてください。『手順スタート』をクリックするとすぐに背景の切り抜きが行われますのでセンサーカメラの枠の外に出てください。画面の表示が100%になるまでそのままお待ちください。



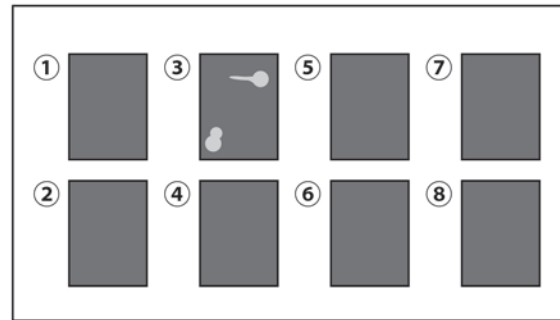


## 4. キャリブレーション (測定検査)

- 13 サンプル画像のように、背景が切り抜かれているか確認していきます。『手順スタート』をクリックします。

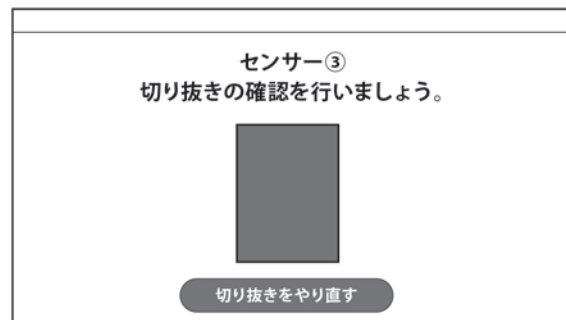


- 14 画像が真っ黒であれば、うまく切り抜かれている状態になります。大きく光などが入っている場合、その画像をクリックして再度切り抜きを行います。

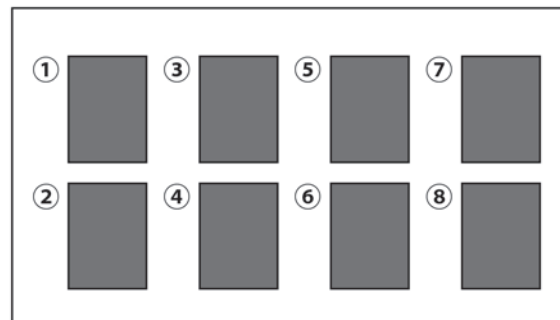


↑大きく光などが入っている場合その画像をクリック

- 15 切り抜きをやり直して、画面を真っ黒の状態にします。

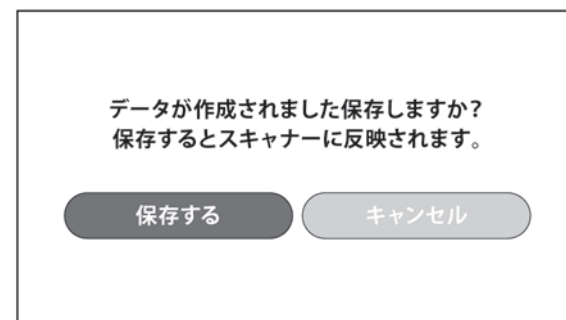


- 16 すべての画像がきれいに切り抜かれた場合、『次へ』をクリックします。

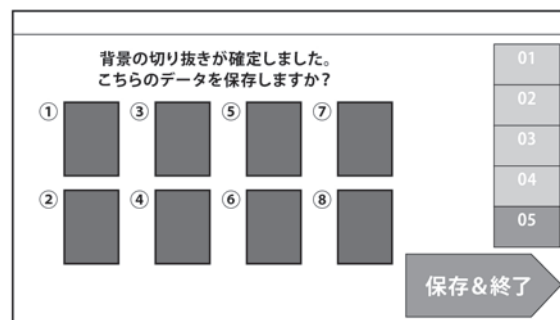


↑すべての画像がきれいに切り抜かれたら『次へ』をクリック

- 17 『保存する』をクリックして、データをスキャナーに反映させます。



- 18 最後に『保存&終了』を押します。これでキャリブレーションは完了です。

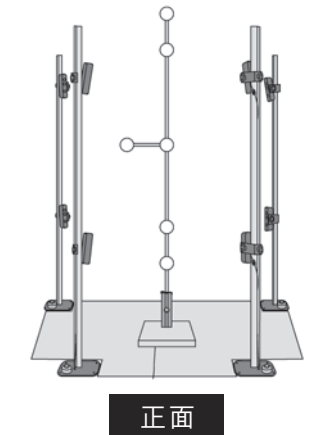
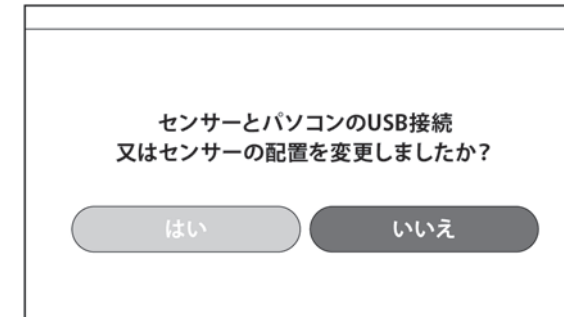


## 4. キャリブレーション (測定検査)

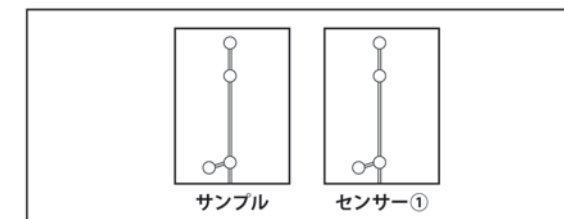
### 簡易的なキャリブレーションの行い方

センサーとPCのUSB接続またはセンサーの配置を変更していない場合は、簡易的なキャリブレーションを行ってください。

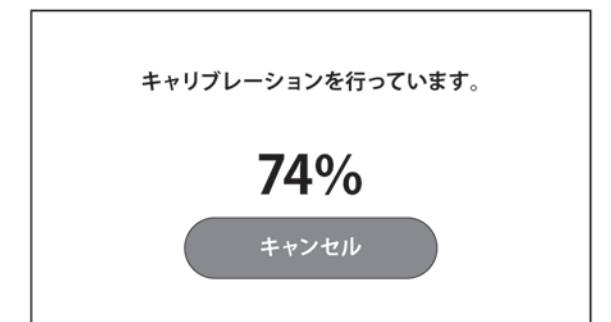
- 1 TdblScnCalibrationStudio.exeを起動します。下のような画面が表示されますので、『いいえ』をクリックします。
- 2 キャリブレーションウィンドを所定位置 (中央) に置きます。『手順スタート』をクリックします。



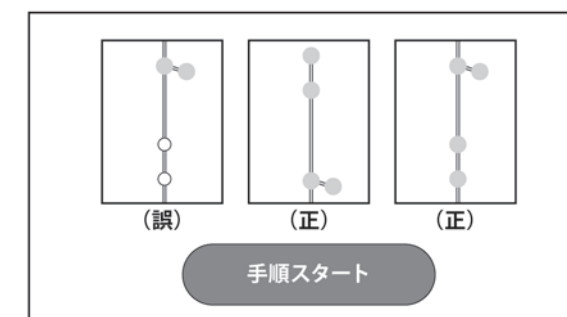
- 3 センサーカメラの調整を行います。サンプル画像を参考に、キャリブレーションウィンドの4つの球が画面の中心に写るよう、センサーカメラ①の位置や角度を調整してください。カメラの角度を合わせる場合はポールの向きを調整するかカメラ右横のネジを緩めて角度を調節してください。※カメラ後ろのネジは動かさないでください。調整し終わったら、『次へ』をクリックします。



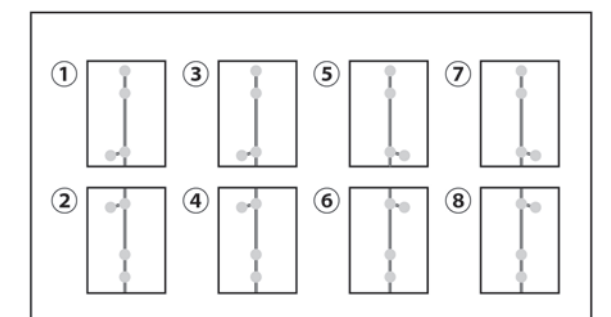
- 4 センサーカメラ⑧の調整を終え、『次へ』をクリックするとすぐにキャリブレーションが行われますのでセンサーカメラの枠の外に出てください。画面の表示が100%になるまでそのままお待ちください。



- 5 サンプル画像のように、4つのマーカーが赤く表示されているか確認していきます。『手順スタート』をクリックします。



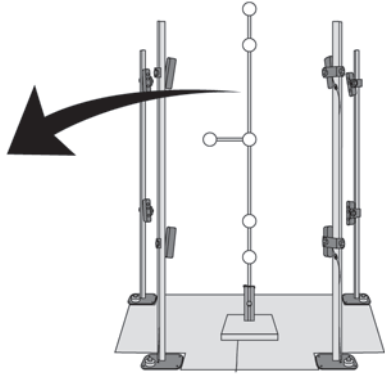
- 6 赤い丸で認識されているのがマーカーになります。赤く認識されていないものがある場合は、その画像をクリックして再検出を行います。問題なければ、『次へ』をクリックします。



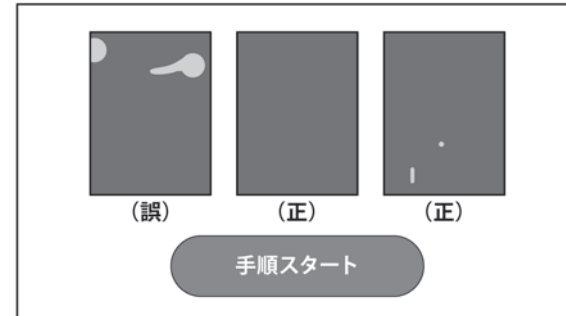
↑すべてのマーカーが認識されたら『次へ』をクリック

## 4. キャリブレーション (測定検査)

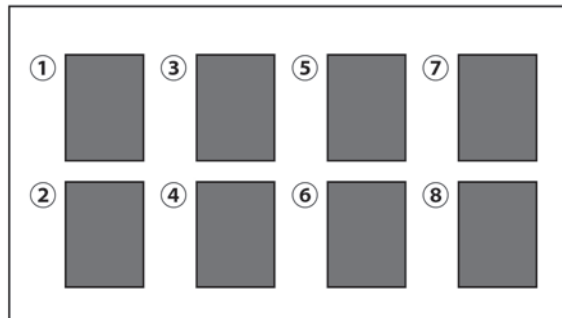
- 7 キャリブレーションワンドをセンサーカメラに映らない場所へ移動させてください。  
『手順スタート』をクリックするとすぐに背景の切り抜きが行われますのでセンサーカメラの枠の外に出てください。画面の表示が100%になるまでそのままお待ちください。



- 8 サンプル画像のように、背景が切り抜かれているか確認していきます。  
『手順スタート』をクリックします。

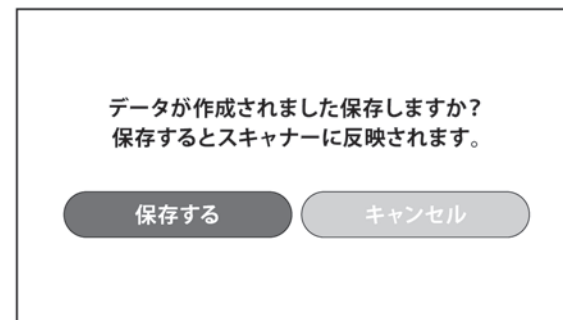


- 9 画像が真っ黒であれば、うまく切り抜かれている状態になります。  
大きく光などが入っている場合、その画像をクリックして再度切り抜きを行います。

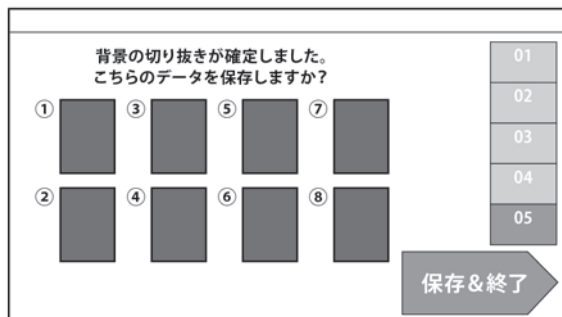


↑すべての画像がきれいに切り抜かれたら『次へ』をクリック

- 10 『保存する』をクリックして、データをスキャナーに反映させます。

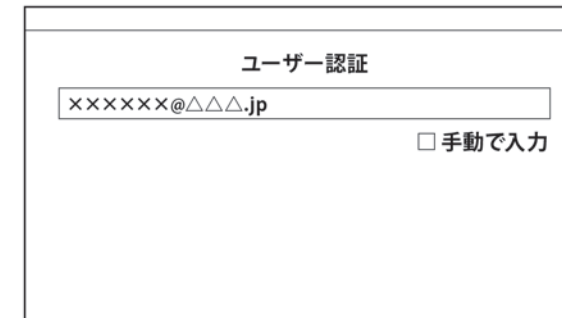


- 11 最後に『保存&終了』を押します。  
これで簡易的なキャリブレーションは完了です。

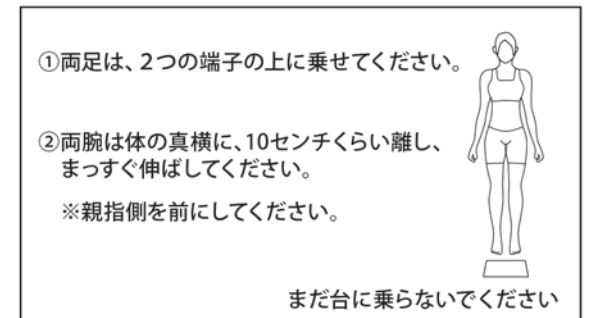


## 5. ボディスキャン (測定)

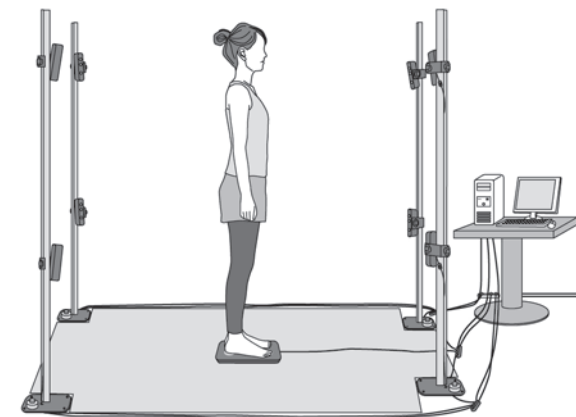
- 1 BodyScan.exeを起動します。  
ユーザー認証の画面が表示されます。  
登録している電話番号やメールアドレスを入力します。



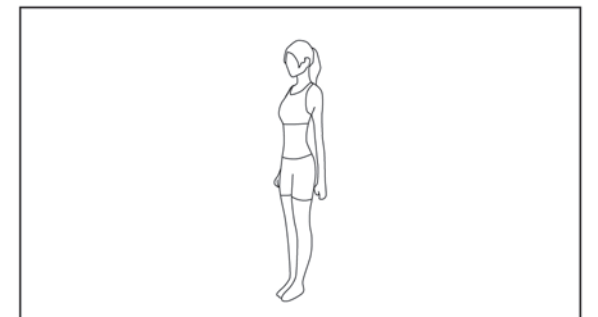
- 2 測定時の注意事項が表示されますので、よく読んで測定してください。



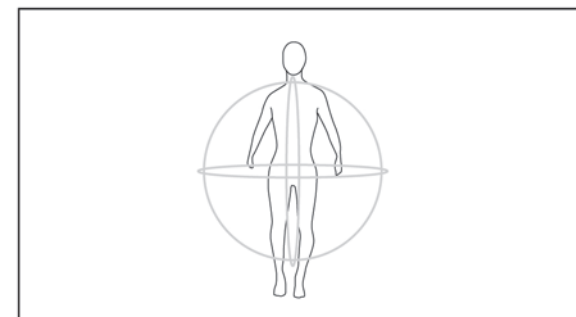
- 3 測定を開始します。  
10秒のカウントダウンが表示されますので、体組成計に乗り、同じ姿勢をキープしてください。



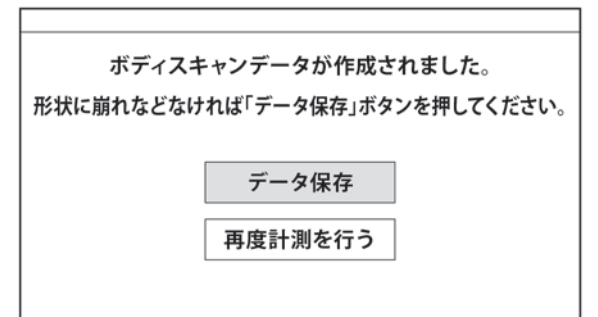
- 4 画面に測定台を降りてくださいと表示されたら、体組成計から降りてください。  
これで測定は完了です。



- 5 測定結果の3Dモデルが画面に表示されます。  
3Dモデルをパソコンから360°確認できます。  
形状に崩れなどなければOKをクリックします。



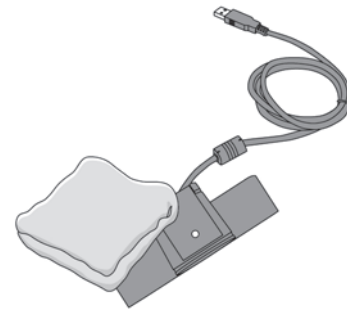
- 6 『データを保存』をクリックすると、アプリでの確認ができるようになります。



## 6. 使用後のお手入れと保管

### センサーカメラのお手入れ

乾いた布を使用し、センサーの外側のみ清掃してください。  
乾いた布が届く範囲内の表面を拭いてください。  
コネクター部分は、布等で拭かないでください。



※研磨剤や、洗剤、磨き粉、溶液（例：アルコール、ガソリン、シンナー、ベンジン）、その他液体やスプレーは使用しないでください。  
※エアコンプレッサーは使用しないでください。  
※センサーを濡れたままにしないでください。  
※火災や感電を防ぐために、センサーを雨やその他湿気のあるところに置いておかないでください。

### 体組成計のお手入れ

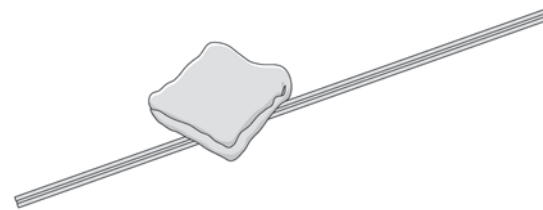
汚れたときは、水または家庭用中性洗剤を柔らかい布に浸し、固く絞って拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。  
以下の場所で本機を保管したり使用したりしないでください。  
●直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所  
●温度変化の激しい場所、振動のある激しい場所  
●湿気の多い場所や水気のある場所



※アルコールや熱湯、ベンジン、シンナー等は、使用しないでください。  
※分解や水洗いは絶対にしないでください。  
※過度の衝撃や振動を与えないでください。

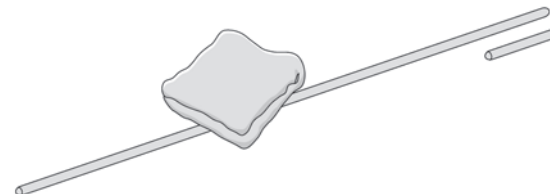
### 金属製ポールのお手入れ

きれいな柔らかい布で、ていねいに拭いてください。



### アルミ製丸棒のお手入れ

水で濡らした布で拭き、空ぶきしてください。



## 7. 故障かな?と思ったら ※修理に出される前に、必ずお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源がきちんと差し込まれていない。	パソコンの電源を一度OFFにし、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認してから、電源を入れ直してください。
電源は入るが動作しない	コードがきちんと差し込まれていない。	センサーカメラ、USBハブ等すべてのケーブルがきちんと差し込まれているか確認してください。
焦げくさい臭いがする	本体に何らかの異常が発生している。	直ちに使用を中止して、iBODY (株) へ連絡してください。

処置後、なお異常がある場合と上記以外に不具合を感じた時は直ちに使用を中止し、iBODY (株) までお問い合わせください。

## 8. 定格・仕様

### 【センサーカメラ】

センサー寸法: 3cm×6.5cm×4cm  
台座寸法: 6cm×6cm×2cm  
測定範囲: 40cm~200cm  
電源: USB 2.0  
消費電力: 2.5W

### 【センサーポール】

高さ: 174.5cm  
ポール寸法: 3cm×3cm×173cm  
底板寸法: 21.2cm×21.2cm×0.5cm

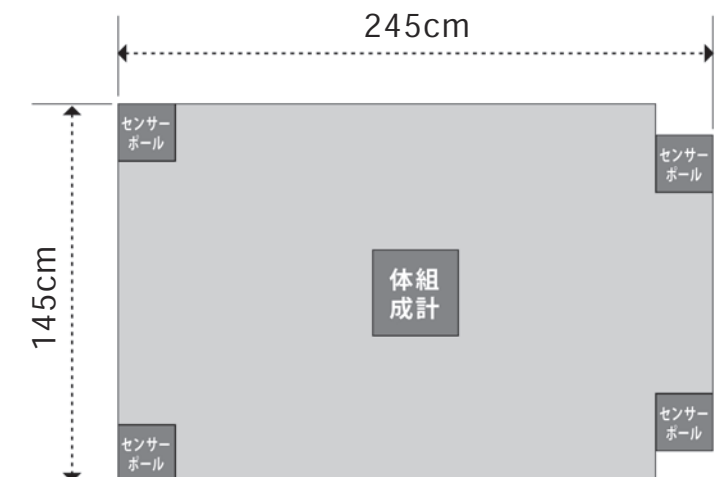
### 【体組成計】

寸法: 30cm×30cm×2.5cm

### 測定スペース要件

必要測定スペース: 245cm×145cm

※測定時に測定スペース内に i-body 機器以外がないこと



※製品の性能向上のための仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。